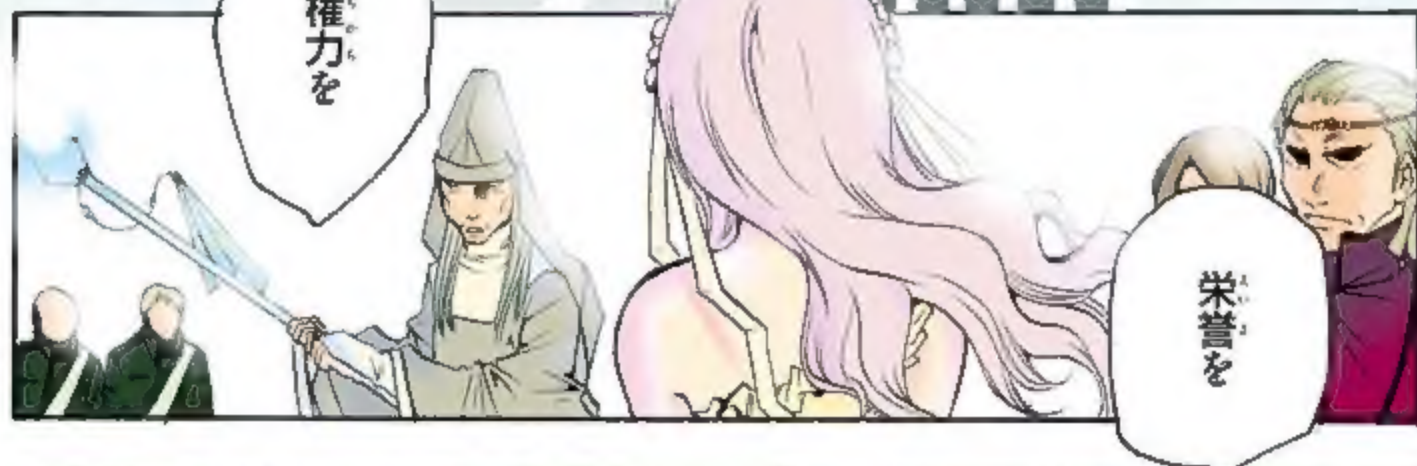
佐々木ミノル
SASAKI MINORU
1
ブレイクハンズ
星石を継ぐ者
MFコミックス
アライブシリーズ

シャン…
シャン…
星石の御魂よ
我々セレニティスの
使者に御加護を
シャン…
栄誉を
権力を
さあ
末の護り人
エマの血を
この盃に捧げ
ましょう

Chapter 1 襲撃

いかほどでも――

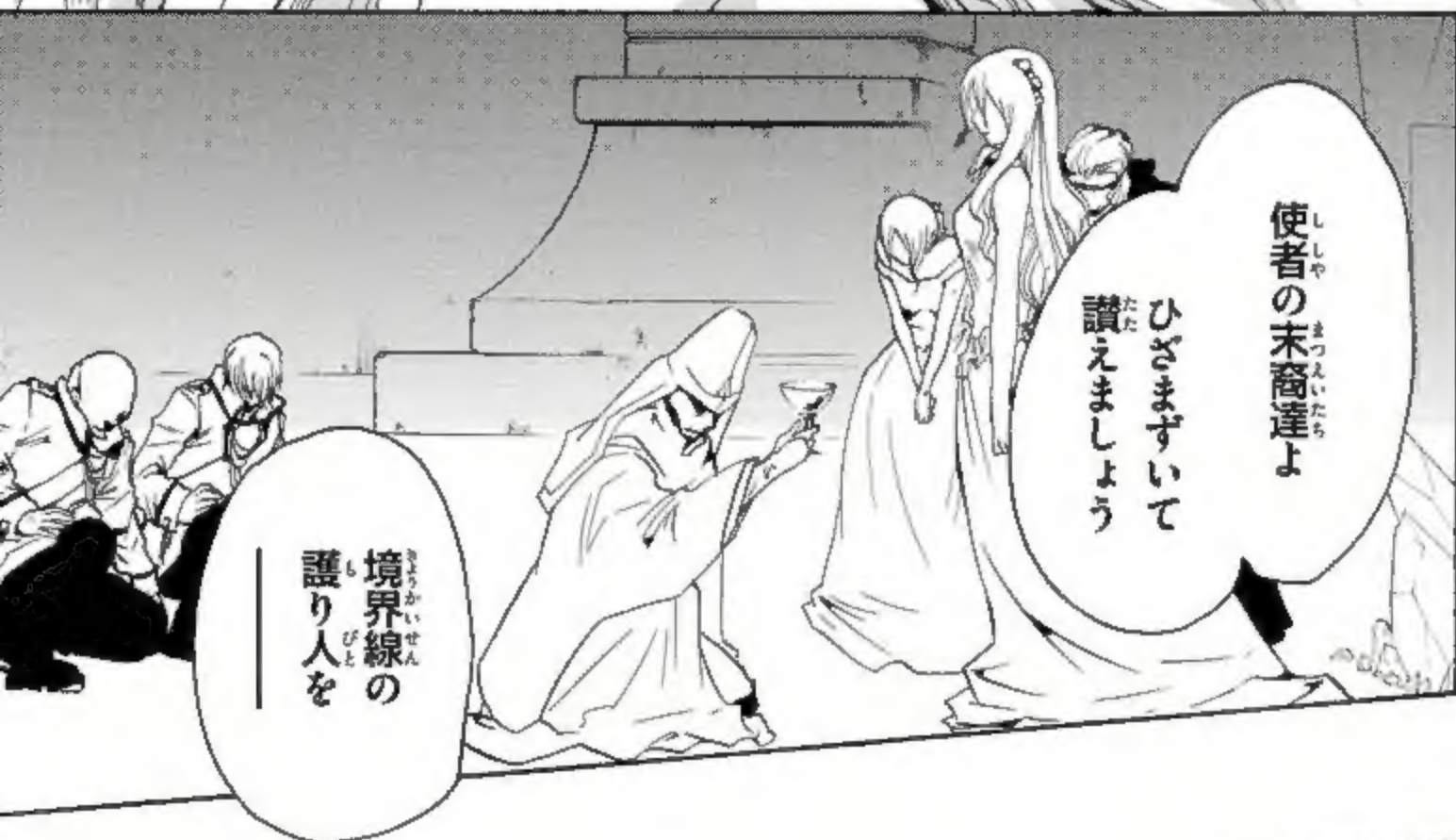
ブレイク・ハンズ

星石を継ぐ者

1

BREAK HANDS 1

CONTENTS

使者の末裔達よ
ひざまずいて
讃えましょう
境界線の
護り人を
——

その国は中原の
そのまた中央に
ある小国
——だが
ただの小国には非ず
不思議な力を持つ
『星石』が採れる
世界で唯一の国

星石の国
セレニティス

おいおい新入り相手に苦戦か？

うるせー！

おっし先輩よそ見した！

うお!!!

あれ？
外した？
第一師団第一中隊
新入隊員
ザン・ルー

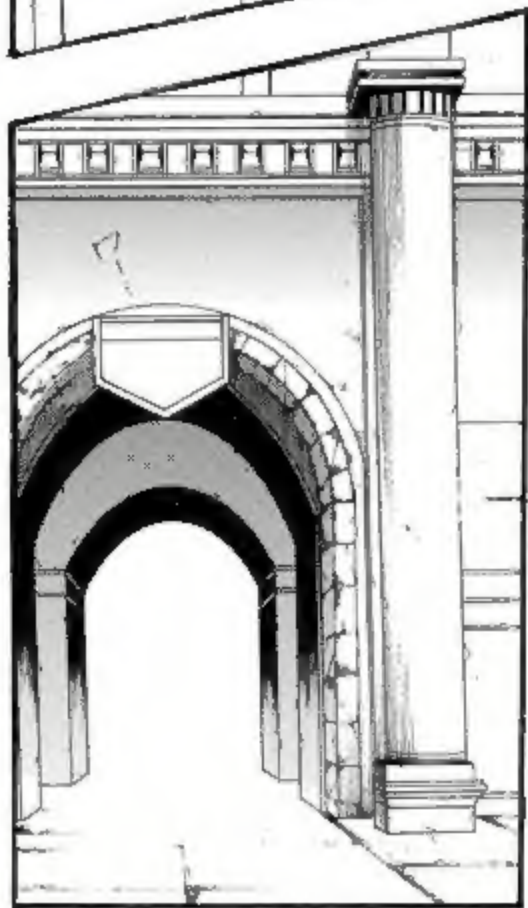
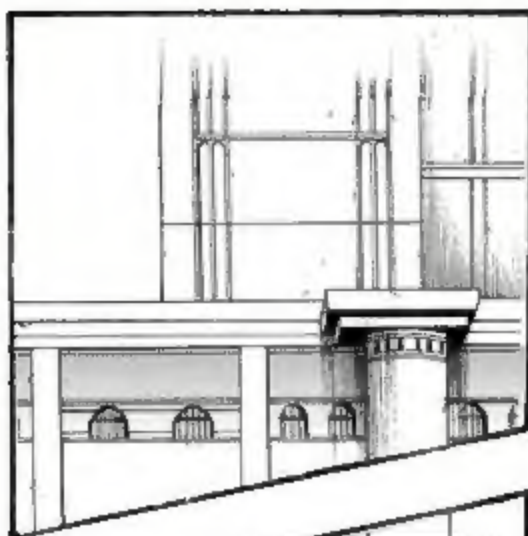
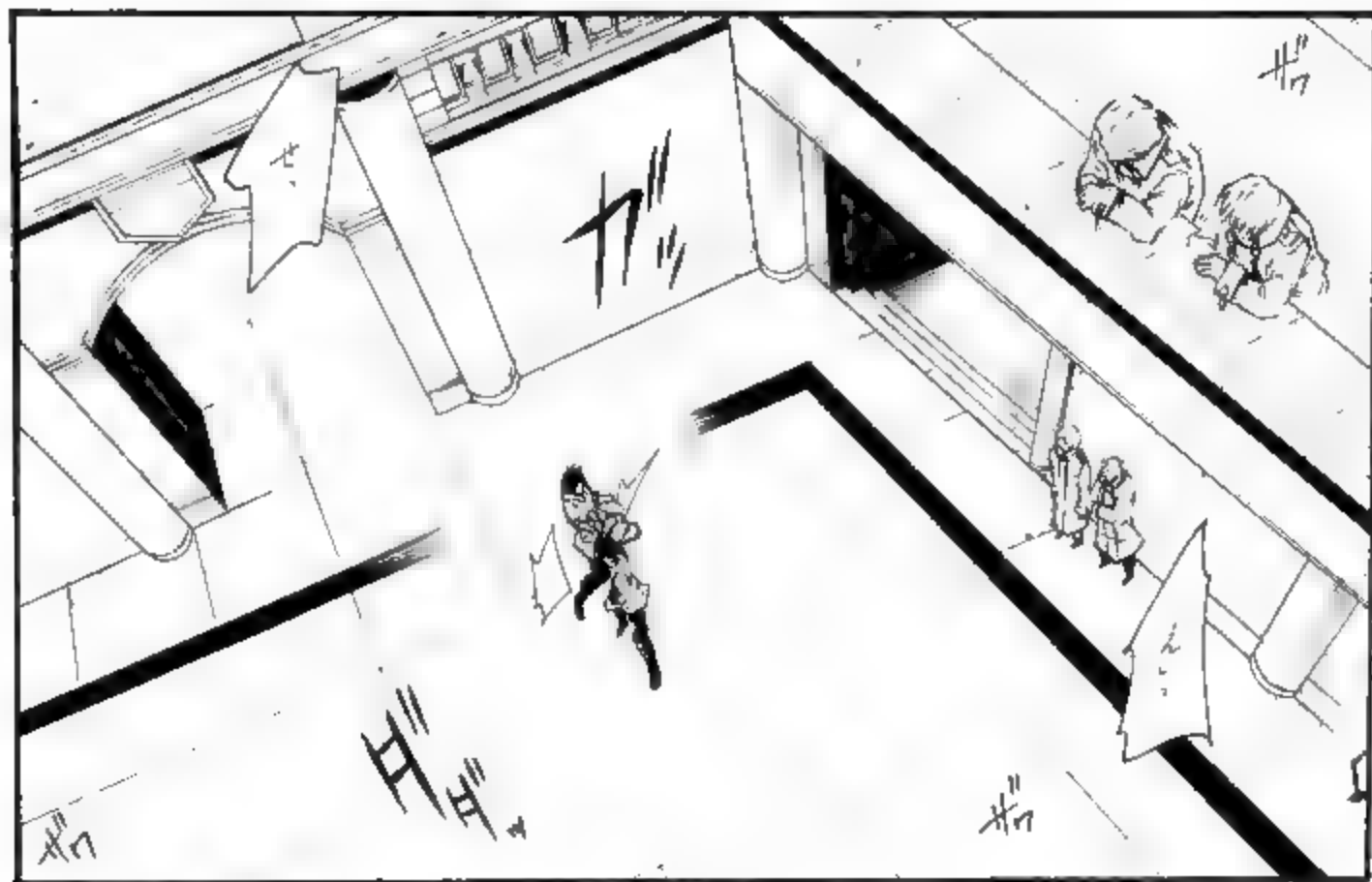
はい一本！そこまで

くそ——っ士官学校ではかわされた事なかったのに！

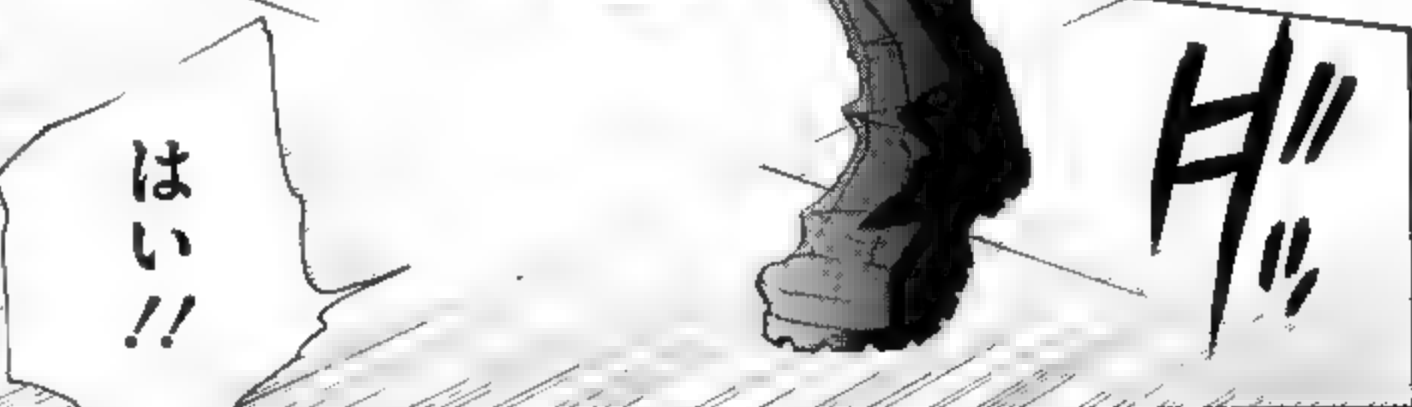
学生と一緒にしてんじゃねーよ！

ハハハ すげぇガキが入隊って来たなぁ

笑えねぇよ…いくら"星石持ち"でも一発で柱を砕くか？

よっぽど強力な星石が埋まってるな あの右手

ズオオオ
さすが名門ルー一族の……
貴様ら
体術訓練の時間はとっくに過ぎているぞ
何をしている
第一師団 団長
マーハン・ルー
ルー…ルー団長!!
はっ!
新入隊員の士気向上のため本日は訓練時間を延長した次第であります!
ザッ
ザン・ルー准尉!!
カッ
カッ
は……
あ
ビシィィ
あれっ!?
いつのまに

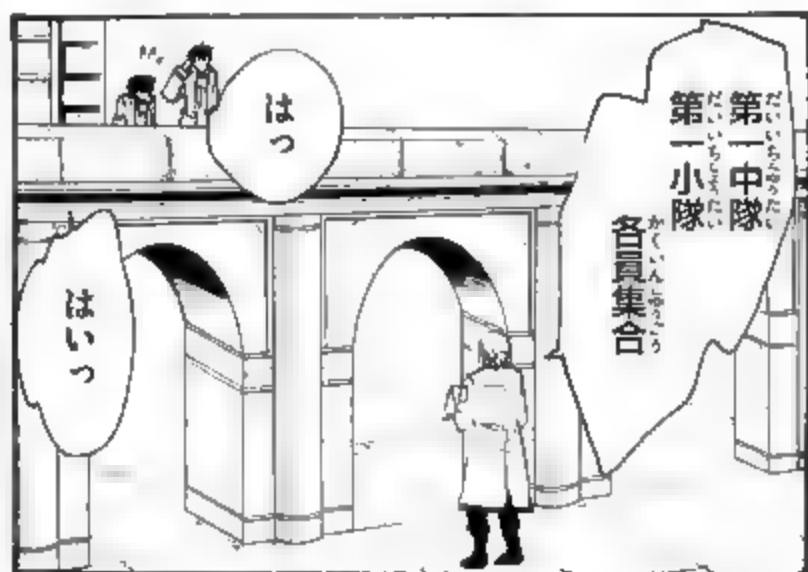
今は腕試しに
興じる時間
ではない!!
は…
はい!
申し訳
ありません!!
貴様はもはや
第一師団の要
第一中隊の
兵士である!!
自覚を持って
職務につけ!!
はい!!
痛い…
もぞ…
カッ
カッ
家では
フツーの父親
だったりするのか
いえ
フツーじゃ
ないです
いつもあんな
感じで
ぶははは!
そりゃ
息もつまるな
カタブツ
だよなぁ

……
まっすぐな坊っちゃんだ
親父に続いてエリート兄貴もご到着だ
やっぱり兄貴の事も尊敬してんのか？
プァーーン…
特務小隊帰還ーー!!
お
ザン
ザッ
はい!!

尊敬してます!!
事前情報どおりテミス地区の倉庫にて外国人盗掘団17名を発見・確保
所持していた星石を回収した
はっ!お疲れさまでです!!
任務完遂についてはは直接私から師団本部に報告する
以上!
第一師団付特務小隊
隊長
セイリュウ・ルー

軍に入ってたった3年で特務小隊の隊長だぜ？

まったくとんでもない化け物だよ

お前の兄貴は

は～～

暗号「リザの失せ物」だ
一四一〇 任務開始
状況報告は各員
小隊長にするように
ええ!?
あ
ザン・ルー准尉
何か不服か
いえ…
でもそれは
任務っていうより
エマ姫が黙って
散歩に出たから
探せってだけの話
ですよね…
「リザの失せ物」だ
暗号で言え
何で第一師団の
主力である
第一中隊が
姫探しを?
一般兵は
皇族の方々の
御顔を知らない
からだ

でも

私が触れずとも
波動で物を壊せる
〝星石持ち〟である事は
知っているな?

消えたくなくば
任務につけ

……了解

ガックン

ぞろ
ぞろ

……
あ！
パサ
あの…
甘ったれた気持ちで
持ってるんじゃ
ないです！
自分ももう
軍人になったから
いつ命懸けの
任務につくか
わからないので
家族を大切に
考えようと――
お前は相変わらず
性根が素直だな
だが あまり
目先のものばかり
大切にするなよ

大局が見えなくば
団長のように
凡庸な軍人に
なってしまう
……？
父さ…
ルー団長は
凄い
軍人です
…凡庸な
とこなんて
どこにも
ない
焦らなくとも
今に嫌でも
大きな任務に
つかされる
お前は
私の弟だからな

それに
この前も「リザの失せ物」を解決したのはお前だった
お前はなぜか姫探しが上手い

今回も頼むザン・ルー准尉
……!
は…

早く父さんや兄さんみたいなスゴイ軍人になりたいけど…

あれがザンルー!!

さいきょうの戦士だ!!

ーっふふ…

…………
……ホントにいた……
エマ姫

また
あなた…？
この間も
あなたに
見つかったわ

あなた兵隊さんになる前にも私を探しに来たわ
子供の頃に

え

一人で大丈夫
ふるっ
あいや！そんなわけには
もう部屋に戻ります本当よ

ダメですって！仕事だから——

ビク
キ
キレイな顔だな……
くす
かくれんぼが得意なんておかしな兵隊さんね
ザン・ルー
!

ウソ…
ザン
ザン！
これから皇族の方々に謁見するのですよ！
だって母さん見て！
こんなにちょうちょがたくさん
ガサ

だぁれ？
ザン・ル
エマはちょうちょにしか見つかったことないのに
スゴイねザン・ルー
10年以上も前の事…
まさか覚えているなんて
自分だって…十分おかしな姫様だ

姫はすぐに戻ったと報告は受けていたが……

ギッ
皇女殿下に向かって「あの子」とは何です
ザン
あなたはたかが新兵ですよ
口を慎みなさい
本日二度目…
スイマセン……
そんな事では父様のような立派な軍人にはなれませんよ
ふア〜〜い…

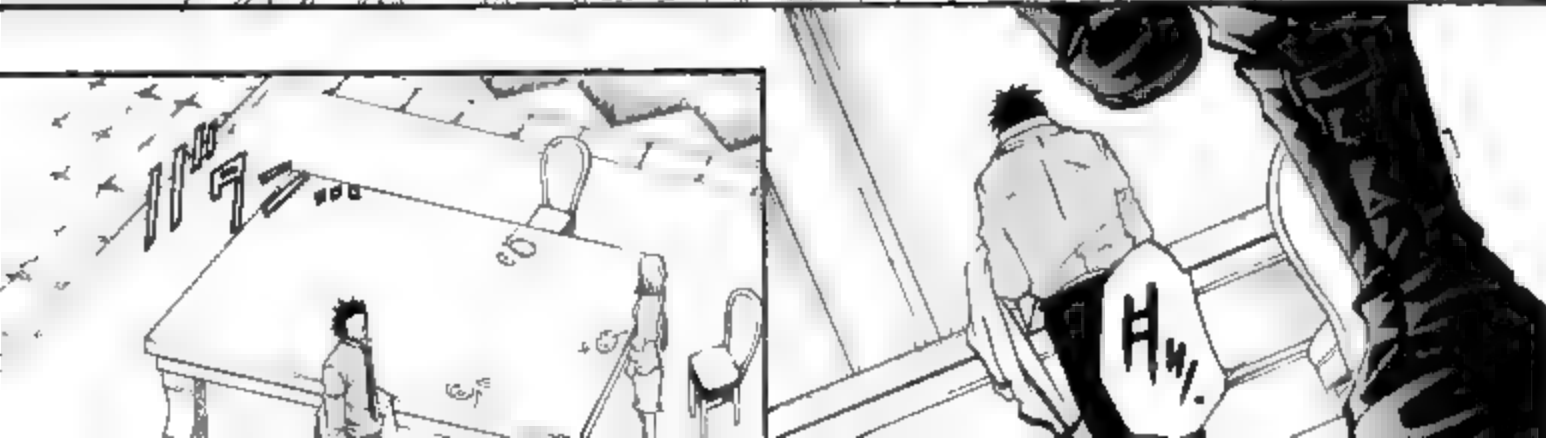
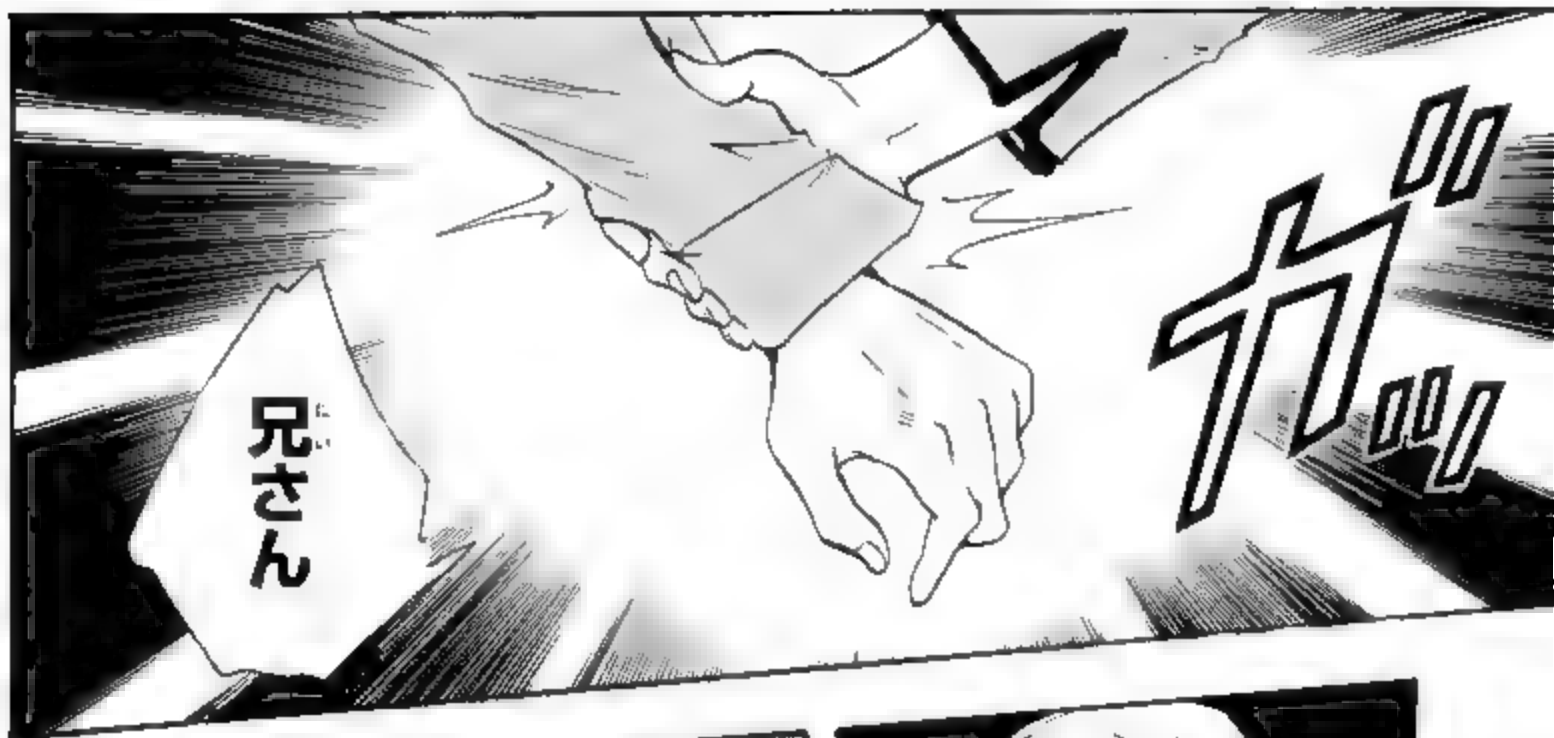
一二〇〇
国軍外通の第二師団
第二中隊長との
通信記録を見た
は
何か落ち度が
ありましたで
しょうか
通信開始から
4分03秒以降
1分31秒の間
通信が絶えている
詳細を述べろ
別の回線から
外部通信が入り
混線を引き
起こしました
中隊長には
その旨伝え
お詫びしましたが
……
適切な
処理では
なかったで
しょうか?
セイリュウ・
ルー少佐

ずいぶんと神経質ですね
外国が絡む話の時だけ
まるで何かに怯えているかのように見えますが
…お前の仕事が気になっただけだ
父親ぶった言い方はやめて下さい

失礼（しつれい）します
バタン…

ガッ

兄さん

…何だ
私は兵舎に
戻る

……
ザンにだけは誓っておこう
私は
この先何があっても己が正しいと思った道を貫く
己を見失う事はない
死ぬまでだ
信じて離してくれないか

……わかった

信じる

夜営頼む
ルー少佐
お疲れ様です

父さんも
何も
変わらず
兄さんに
戻れとも
言わない

部隊で見る
兄さんは
いつも立派で

「父親ぶった
言い方は
やめて下さい」
兄さんが
父さんに
あんな事
言うなんて

まぁ
「フツウの父さん」
とは大分
違うけど…
へー
エリート家庭も
色々あんだな

他人事だなぁ……
他人事だよ
平民出の俺から見たら
お前の家族は
完璧な上官だ

こうやって
気ィ抜いて
話せるのは
ザングらいな
もんだぜ
それ
ホメてるんですか？

ホメてるよ
おかしな
坊っちゃんだってな

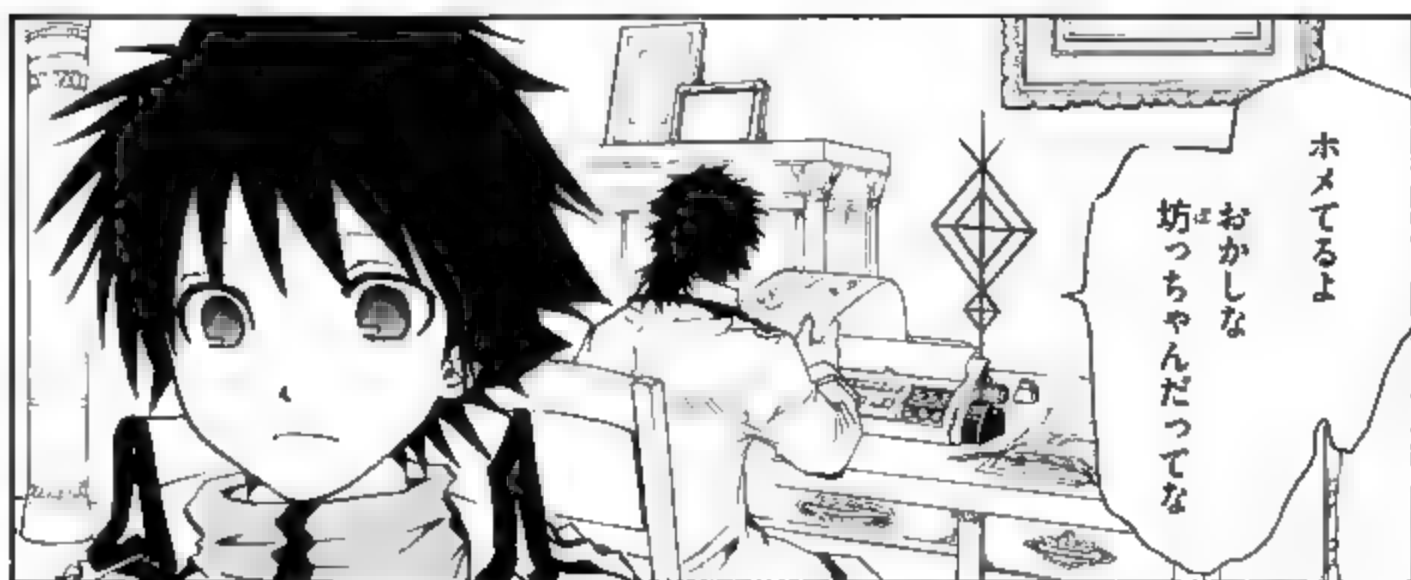
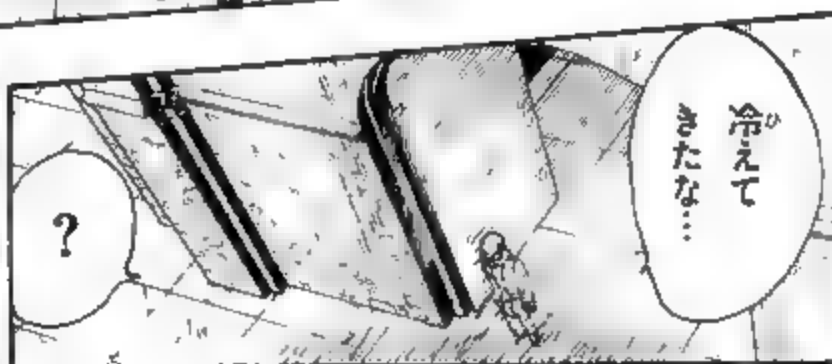
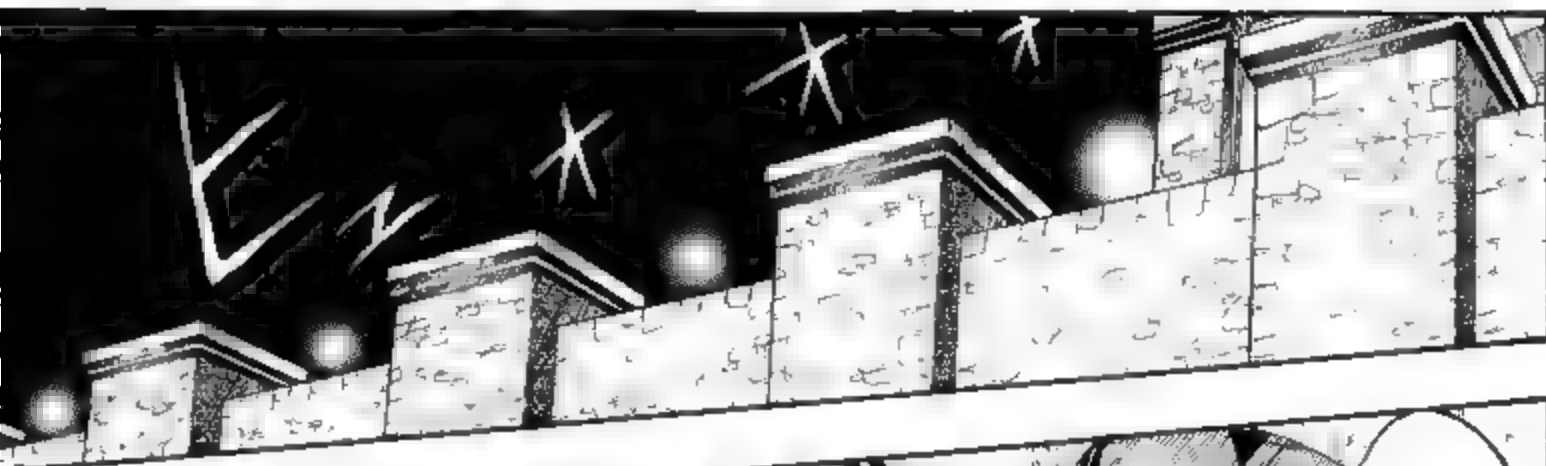
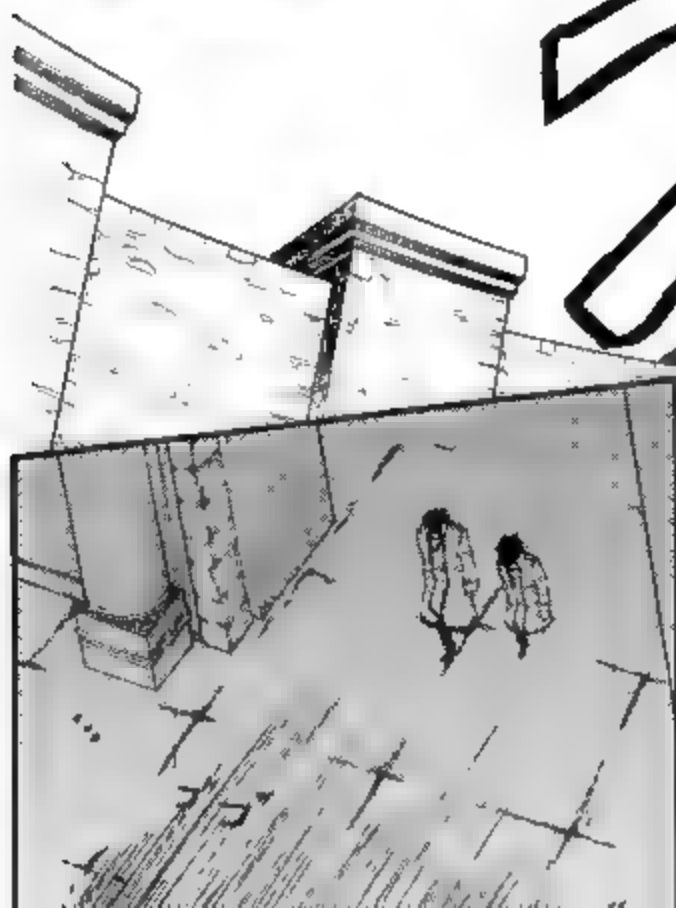
おかしい
か
この前も
誰かに
言われたな

……？

？
テッサ曹長？
何だ
この磁波は……

冷えてきたな…

？

月が陰った——？

通信応答ありません
記録とにらめっこしても仕方ねぇ
上に報告だ

……!!?
な……
何だ!!?

ガラ
ガラ
て……
ガラ…

敵襲ーーッ!!!

ガタタッ

!!

ダダダ

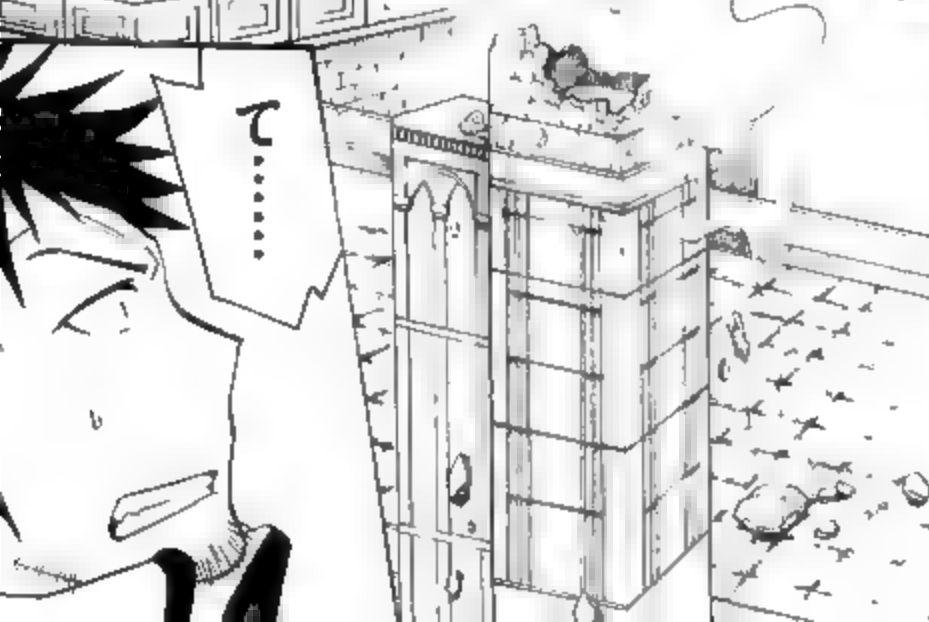
バタ

ビクッ

敵襲だと!?

正体不明の飛行物から砲弾一撃!

第四師団中心棟上層部壊滅目識

団長!!
あの旗印…
国家ではないようだな
何が目的だ?
近衛師団にコード「氷山の獣」至急通達!
了解!!
総員
六角班型で散開!
戦闘準備開始!!
はっ!!

団長！通信がつながりません！
……！そうか
第四師団所管の通信本部がやられたから
通信を先に潰している
…混乱させて何を狙う？
何で通信塔の場所を知ってるんだ……!?
ザン「六角」だ行くぞ!!
ハイ!!
ワー…

何か降りてくる…
歩兵か
だが国を落としたいならば直接皇宮を攻めるはず
何故あそこで停まっている
ヒュオオオ
皇宮に何か目的があるな

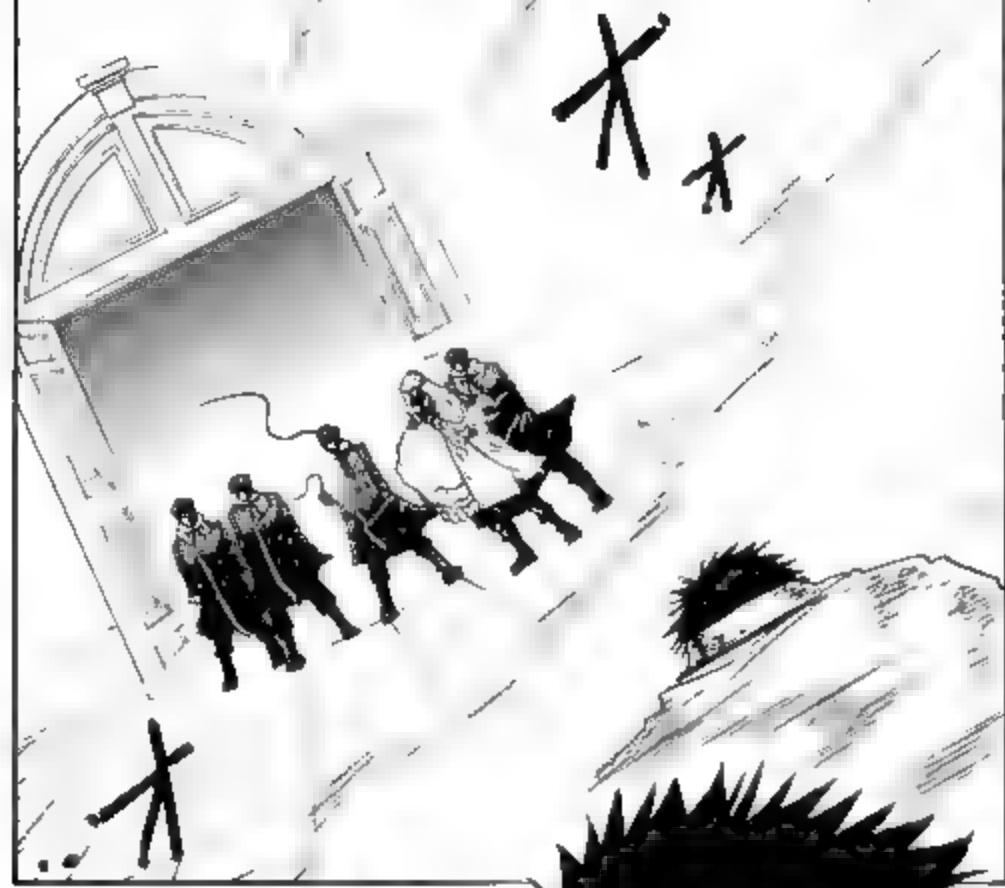
カッ
カッ
カッ
ザッ
ザッ

カッ
カッ
待て

その方を
どこへ連れて
行くつもりだ？
ドン
返答次第では
セレニティス国軍
第一師団団長
マーハン・ルーが
この拳を
もってして
貴様らを
止める！

ガチャ…
…問答無用か

うあア!!!

……!?
何だこれは

オォォ
ただの物理攻撃ではない――!!!
ゼー
ハー
ハー……
驚いた…
あの新弾を受けてまだ倒れないのか

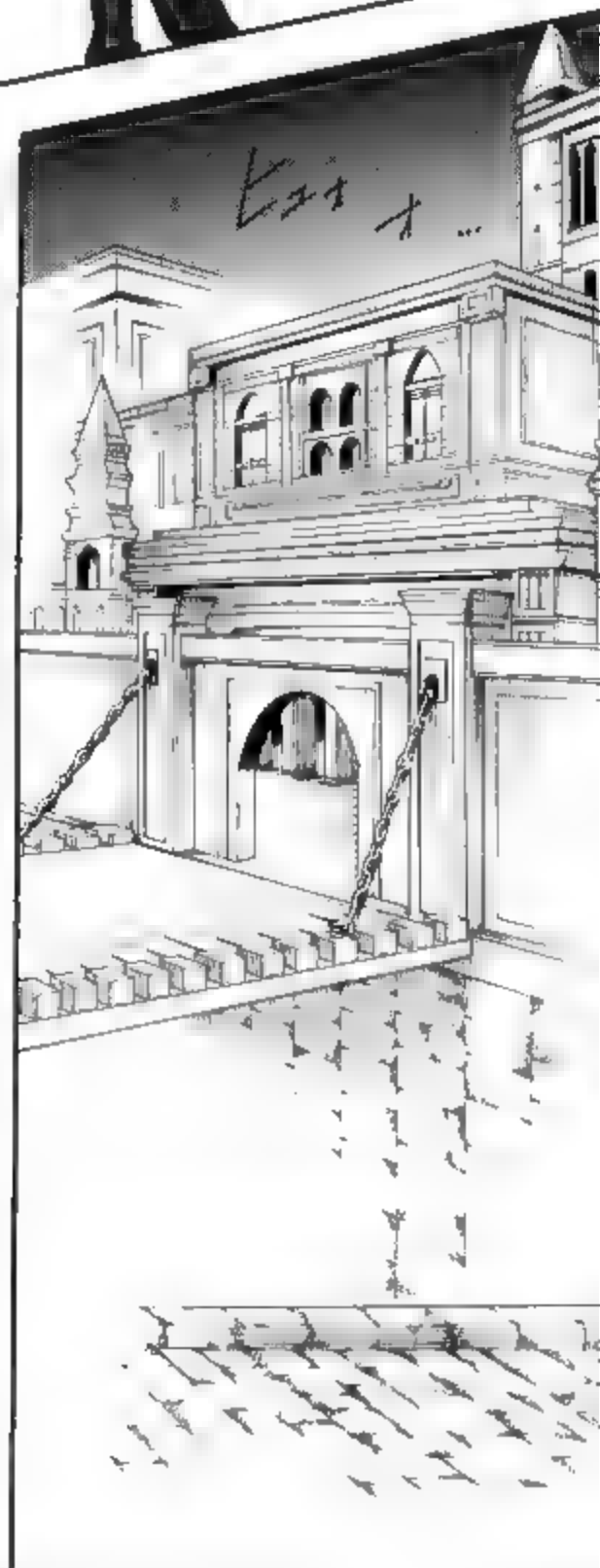
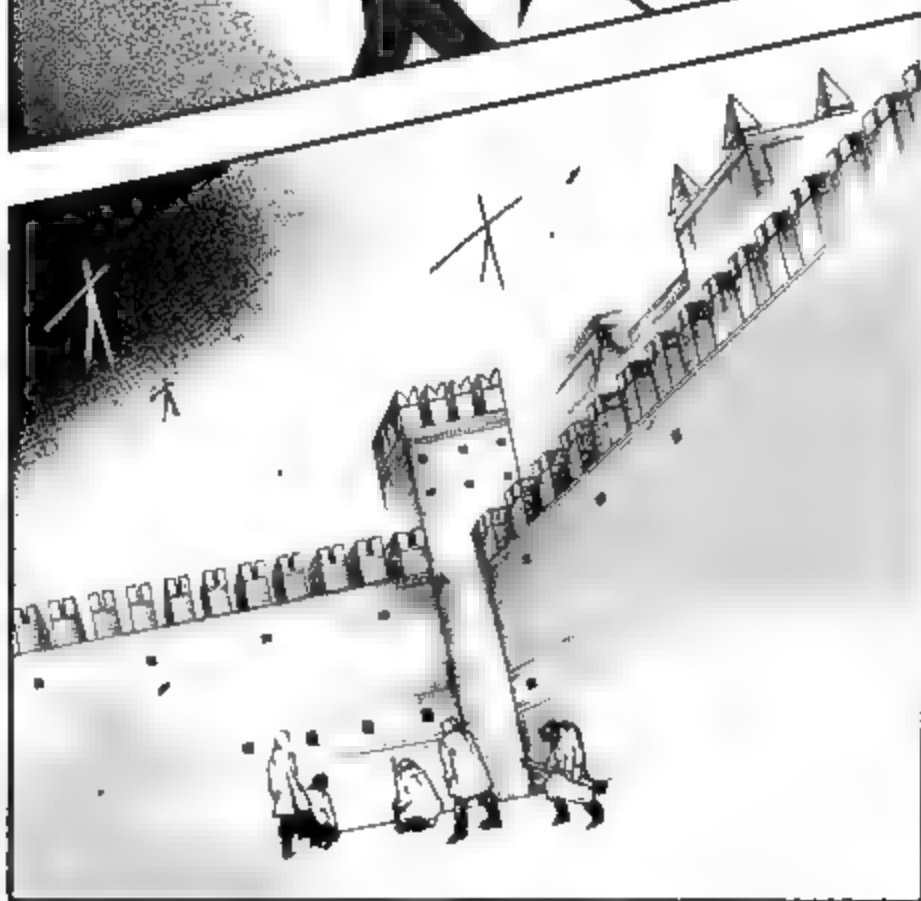
誰にものを言っている……!!

ボッ……ボタ

俺はこの国の拳だ!!!

貴様ら如き賊に倒されはせん!!!

そうですね

では ただの賊ではなく 私がお相手を

ビュォォォ…
来やがるぞ
各員
星石で盾を
造っとけ！
クソッ！
何なんだよ
コイツら！
ブゥ…

あの飛行物…
少しずつ城に近付いてる
気のせいじゃない
ゴゴ
ゴ
ゴゴゴ
ダッ
………
また散歩してるなんて事はないと思う…けど
でも…!!
ザッ

父……さん!!?
父さん!!
父さん!?
父……
……

……どうして？

強すぎて…みんなが怖がる

あの父さんが…？

「父さんは凄い軍人です」
「凡庸なところなんてどこにもない」
(I.1882.11.2　家族で)
フツーの…父さんじゃないか……!!

ザン……

父さ…!!

……

…姫

を……

ゴ…

ゴゴ

ゴゴゴゴ…

ダッ
ゴゴォ
ゴブ
ゴブ
ブ
ブ
ブ
エマ姫!!!
ブ
ブ

オ
オ
オ

バァ…
バァ
バァ

ザン……
ルー……
………!!

ダッ
待てよ!! お前ら…何なんだ!!
姫を返せ!!!

軍用監獄に
入ったのなんて
初めてだな
…やっぱり
国を襲った
あの武装集団
と一緒に
兄さんが
いたから
俺も
捕まったん
だろうか…

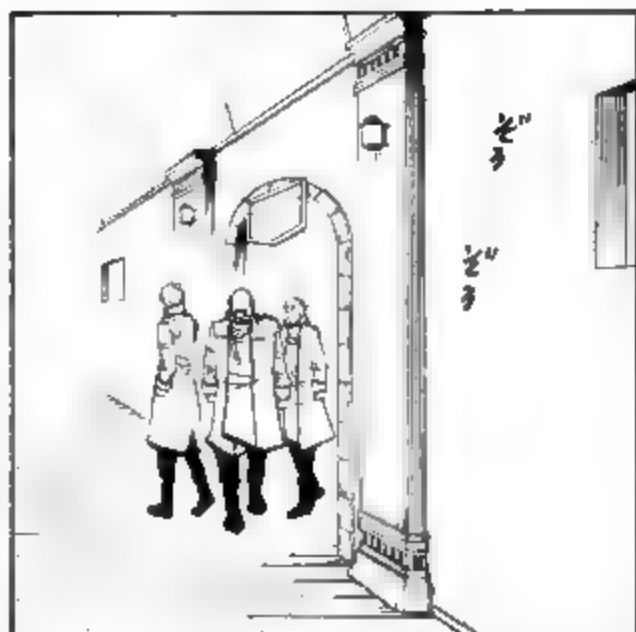
父さんを殺したのもアイツらだろう
なんで兄さんはそんな連中と…
なんでエマ姫を
ズ…
エマ姫…
グ…
無事かな……

Chapter 2 決意

それでは
まず大まかに状況説明を――
参謀本部総務局 クォーラル・ボウド大佐
大失態!!!

昨夜の正体不明の武装集団による奇襲で
近衛師団2名
第四師団11名
第一師団13名が死亡
その他 重軽傷合わせて
前代未聞だ!!
敵にたやすく皇都侵入を許し
あまつさえ皇女を拉致されるとは——
皇都防衛の任にあたっていた第一師団はもとより
近衛師団!!! 貴女方は一体何をしていたのだね
ボウド大佐!!

―――……
時間がないので
お詫びは後で
よろしいか
な…!!
第一師団団長
マーハン・ルーは
戦死
また武装集団の中に
第一師団のセイリュウ・ルーが
いたとの未確認情報あり
事実とすれば
敵と内通していた
可能性が高い
これより我が軍は攫われた
皇女殿下の奪還に乗り出すべく
〝皇女捜索隊〟を
緊急編成します

皆さんには
本日中にそれぞれ
捜索班を編成して
頂きたい
一七〇〇のラッパを合図に
敵の追跡を開始します
『国境前で
姫を奪還せよ!』
『蛮族を
このセレニティスの
土と還せ!!』
任務通達は
以上です!

ぞろ
ぞろ
カッ
カッ
目を開けて眠るのが貴様の特技だったな
ボウド一族の面汚しめ
ぶ

大事なとこはちゃんと聞いてましたよ
いててで
のーぞ…
クロス・ボウド中佐
姫が攫われた事で我々近衛師団の責任も問われている
近衛師団の名誉のため他の誰よりも任務完遂に力を尽くせ
そりゃ重たいなあ
ガタ
戦死したマーハン・ルー師団長の右手から星石がえぐり取られていた
敵の狙いが星石である可能性もあるぞ

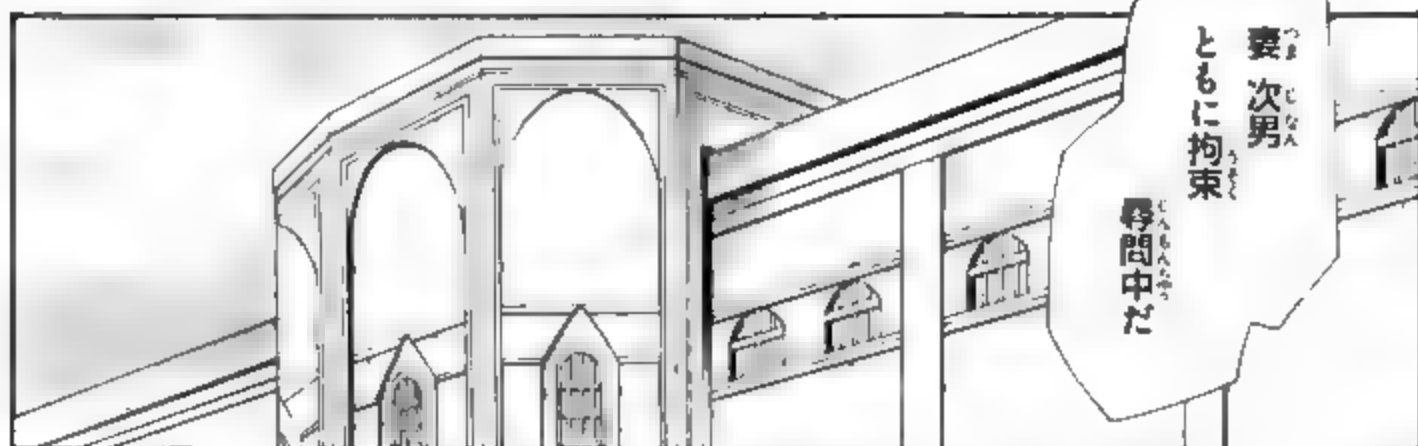
ゴゴゴ

だって敵は空飛ぶ船に乗って来たんでしょう?
俺も乗ってみた…

…冗談ですよ

信用できんな

マーハン・ルーは戦死…
長男は内通の疑い

他の家族はどうしてます?

妻 次男
ともに拘束
尋問中だ

では
敵襲時は
配置命令を
無視し
無断で持ち場を
離れた…と
…はい

敵方に君の兄である
セイリュウ・ルーが
いたとの情報がある
……違いま…
君は彼に
接触するため
皇宮に向かった
のでは？
今回の襲撃は
セイリュウ・ルーの
内通により起こった
可能性が高い！
!!

わかるかね？

今やセイリュウ・ルーは国家の敵である

姫が拉致されたのも多くの同胞が死んだのも

貴奴が引き起こした事態なのだ

ギロッ

君の教育係テッサ・ビーストン曹長も重傷を負った

もう第一線には戻れんかもしれんな

！

テッサ曹長が……⁉

知ってる事をすべて話すんだザン・ルー准尉

あの悪党をかばい立てするは国家に対する反逆行為だぞ

失礼――

!?

な

何だね!

ここへの立ち入りは禁止されているはず――

急ぎの任務に就かされたんで そいつから情報収集したいんです

チャラ

あの勲章と階級章…… 近衛師団の部隊長クラス

!

…許可は取られてるんでしょうな

取りますよ 後で

後じゃ困る！
お前がザン・ルーか
あんまり兄貴に似てねぇな
……？
兄を知ってるんですか
知ってるさ裏切り者だろ？
………

俺は近衛師団第一中隊副隊長クロス・ボウド中佐だ
ドカッ
オメーの兄貴のせいでこのたび皇女奪還任務に就かされた

姫の…!?
敵を無駄なく追跡せねばならない
お前が知ってる事をすべて話せ

自分は本当に何も
まだ何も話してないのか?
ええ

え

やり方がぬるいだけじゃないの

ドガ

……暴力による尋問は処罰対象です
時間がないんだよ

お前ら一族のせいでこんなメンドくせー事になってんだ
少々痛い目に遭わされても文句は言えないよな?

ボタ
ボタ
ボタ
兄は裏切り者
親父は役立たず
そんな家系の
お坊っちゃんの
物言いは信用
できませんよ
……!!
父は…
役立たずでは
ありません…!!
グッ
役立たずじゃない
だとさ
……
シーン

コイツの母親は？
東収監棟です
そっちを吐かせた方が早そうだな
ま…待って下さい！母に何を!?
時間がないっつってんだろ知ってる事を話させるんだ
母にも乱暴な尋問をするつもりですか!?
そんなの……！
「そんなの」？なんだよ

残念だったな
俺なら許されるんだよ
チャラ
ギリ
ダッ
ッ

おい!!
座れ!

行かせません!!

どけ
いやです

父も勲章をつけていましたが
あなたのように…力を振りかざしはしなかった！
役立たずと一緒にすんなよ
カッ

な…！
貴様何を

上とヨロシクできなきゃ軍人はエラくなれねェぜ?

死んでも文句言うなよ
硬化
ギ…ギ…

波動
続いて
尖突…

各発動に
一秒と
かからない…
か……

優秀な新兵なのはよくわかったよ
!!?
ドシャ

……
……!?

発砲したんですか…!?
まあ…麻酔銃みたいなモンだ
でも銃がない

ジャマしましたね
しばらく星石の力は使えないだろうから安心して尋問を続けて下さい

ガ

……行かせない……!!

はぁ
はぁ
……平衡感覚がやられてる…？
はぁ
は
常人なら
30分は動けないはずだ
はぁ
はっ
ーっぎ
ズ…

ガッ
軍監察本部へ連絡しろ！
尋問中の准尉が脱走を図った!!
キィ
ゼーゼー
……ぷ
ぷはははは
お前も親父と同じだな
早死にする性質だ
？

お前が何を思おうが兄貴が裏切り者で親父が役立たずであった事実は変わらん

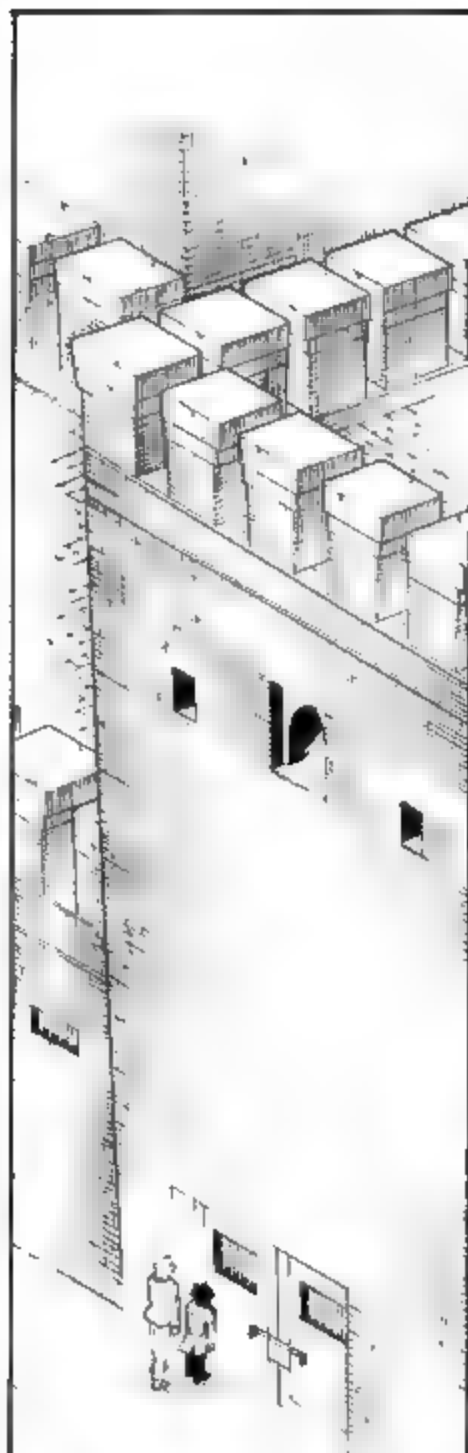
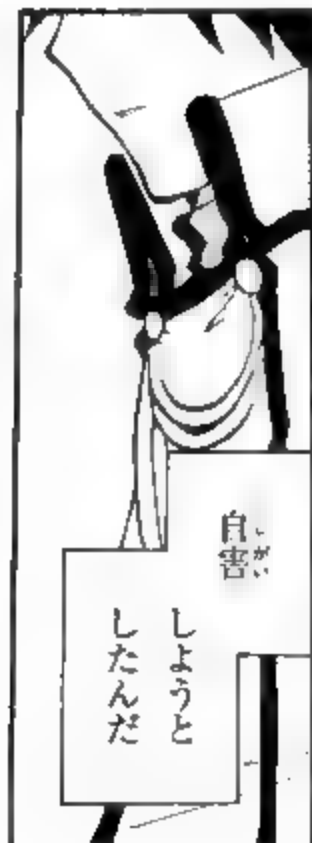
お前にはその分軍のためにキッチリ働いてもらおう

――
何!?
何も知っちゃいませんよ　アリャ
ルー家の次男を連れて行く!?
何のつもりだ！　そいつは重要参考人だぞ
まだ軍服に着られてるようなクソガキじゃないですか
……そのクソガキを何故連れて行きたいのか聞いている！
〝紅蠍光槍〟が効きませんでした
!
神経操縦の訓練を相当積んだ者しか防ぎえないものと思っていましたが
むしろ皇都におかない方がいい
我々にとって危険なようなら途中で俺が潰すまでですよ

入れ
……
俺はこれから
どうしていけば
いいんだろ…
どうやって…
奥に
母親がいる
あいさつして
来るように

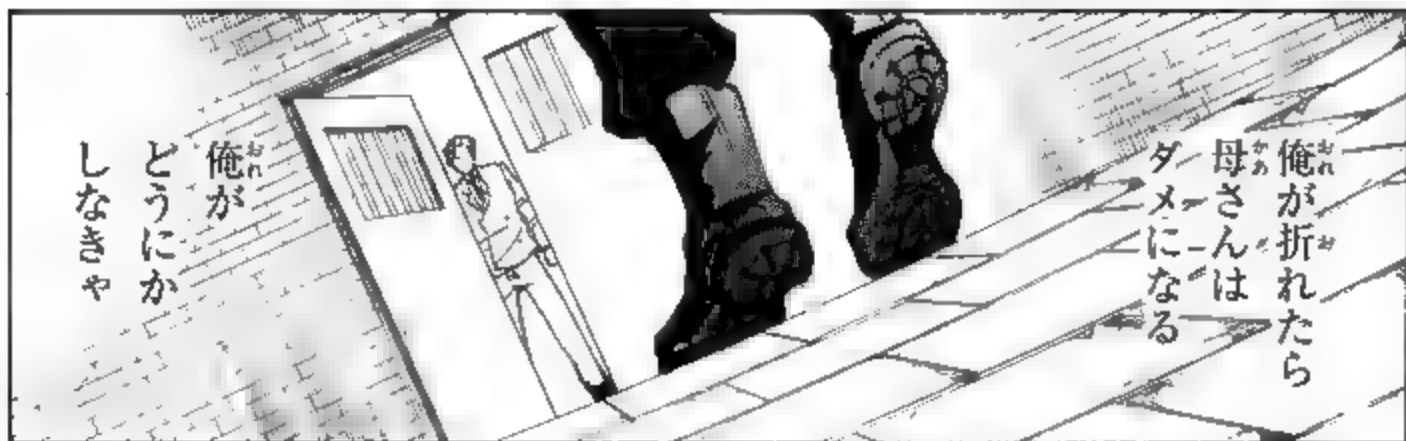
……
ザン…？
ザン…！ザンね…!?
ガシャッ

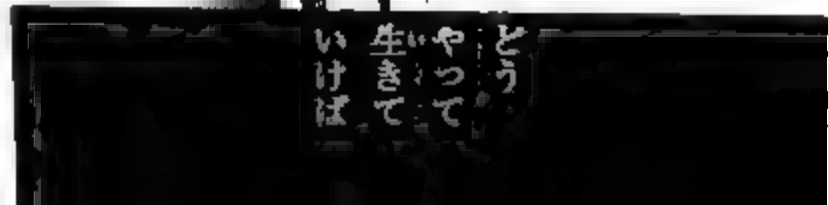
ああ…生きていてくれたの！
母さんもう誰もいなくなってしまったと思って

母さん…その傷…
……母さんね……どうしていいのかわからなくなってね
だって
お父さんはいなくなってしまったしセイリュウは…
……

……ザン
母さん これから どうやって生きて いけばいいのかしら…
自害 しようと したんだ
大丈夫…
俺がなんとかするよ！
兄さんの嫌疑も 何かの間違いだって

俺がすぐにこんな所から出してあげる
ちょっとだけ待っててね
…そうね
そうよね
あなたはルー一族の男子だものね
強い子だものね
折れるな

どうにか
しなきゃ

ザン!?

テッサ曹長…!!

君の
教育係
テッサ
ビーストンも
重傷を
負った

もう第一線には戻れんかもしれんな
ドドド
すべては君の兄セイリュウ・ルが起こした事
何だ
ドン…
生きてんのかよ
くら
どうやって生きていけば

良かったぁ!!
ぱふ〜〜へ
オメェ聞いたぞ!?
尋問中に逃走図ったって
今の状況でそんなマネしたら殺されかねねぇぞ
もう殺られちまったんじゃねーかと思って走っちまっ…
痛でっ
傷口開いたッ

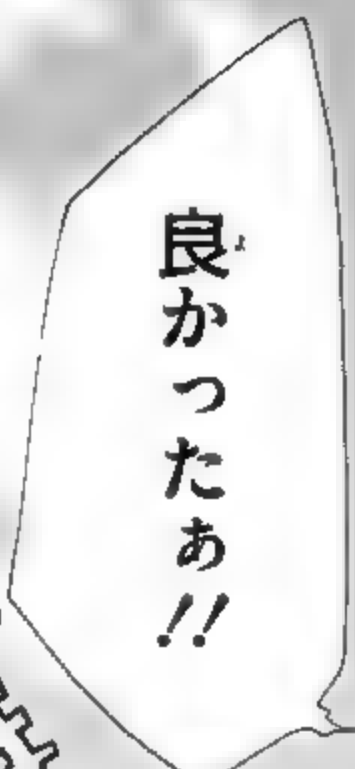
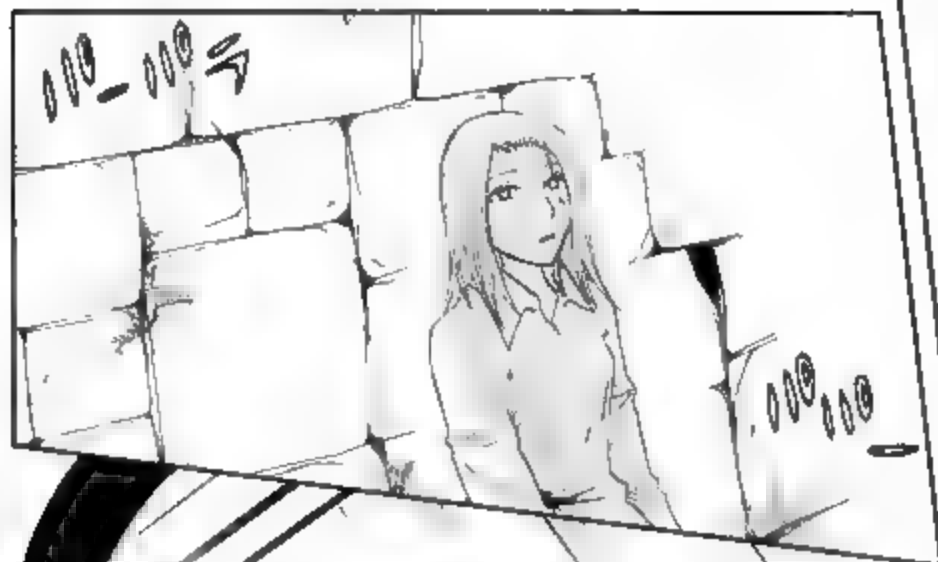
ぶわっ
う…
うヴあぁあぁ
あぁあ
……
軍人が
これぐらいで
泣くなよ
う？
これぐらいって
……!!
俺も…う
どうすれば…
うぐ
俺の家族の事で
テッサ曹長だって…
軍人生命が
……っ
ぶえっ
うっ
わしゃ

生きてりゃ
どーにでも
なるよ
ポンポン
どーにでも
できんだよ
ひっ
うぐっ
ーっ
……

兄さんを追わなきゃ!

第一師団
第一中隊所属
ザン・ルー准尉

入ります!!!

うるせぇ!!

これで全員揃ったな

今この時より
俺達は同じ任務の
遂行を目的にする
チームだ
足手まといに
なるなよ
姫に一番早く
たどり着くのは
このボウド班だ
明日の日の出前までに
敵の尻尾を捕らえるぞ

ブレイク・ハンズ

Chapter 3 追跡

カルセドニー
Chalcedony
セレニティス
Celenitice
オブシディアン
アンバー

皇都襲撃から
20時間経過――

セレニティス軍は
国境線を封鎖し
敵を追い込む
包囲網を敷いた

一七三〇：全隊出動

ワーワー

デッドバン隊
全員乗り込め！

装備は
すべて
積んだか!?

ワー

ワー
ワー

皇女殿下捜索隊 全十二隊 出動しました
うむ

アンバーと オブシディアン どちらの 国境線からも 未確認飛行物の 目撃情報は 届いていません
よし

何としても 国境線は 越えさせるな

ドドドドドド
ガラガラガラ

ドドドッ
ドドッ
ドド

……
隊長

そう焦るなよ
車内で自己紹介でもしてろ
……
……私はカットラス・ローラン大尉
第三師団第二中隊所属だ
よろしく
…第二師団特務小隊所属
フレイル・アルジュナ少尉
第四師団医療中隊所属ミセリ・コルデ准尉です…

あ……自分は

第一師団のザン・ルーだろう

今追っている敵の中に混じっているかもしれない裏切り者の親族だよな？

そんな兵士が何故この特務に就いてるんだ？

我々の隊長になった方は変わり者で有名だからな
近衛師団のクロス・ボウド中佐

わあ!!!

……!?

列車って… 俺達が出兵を 命じられたのは 南方ですよね

列車は皇都より 北方にしか 通っていないはず…

Amber

北のカルセドニーへ向かうおつもりですか
ザッ
そうだ
ザッ
敵は南下したと聞きましたが
俺は敵が進路を変えたと踏んでいる

カルセドニーへ出るには運河と鉄道が交差する最も警備の厳重なポスボラスの国境線を通過せねばなりませんが？
元々警備の堅い場所と

これから追手がかかって警備が堅くなる場所
どっちがリスキーだ？

俺はどっちもそう変わらんと思うね

兄さん…
エマ姫…
俺は早く二人に会いたいけど…
隊長は何を考えているんだろう——?
ヒュオ
オ
一八三〇：ボウド隊 列車へ

ガチャ

ここ…
軍用車両ですか？
ゴゥゥ ゴゥゥ
ああ

私 初めて
ザ
俺も…
浮かれるな
……

では これより作戦を説明する！

単刀直入に言う

俺は上層部が敵が南下したと決めつけているのは安直だと考えている

敵側の捕虜は口を閉じるため揃って自害した

そこまでする連中が馬鹿正直にまっすぐ南へ逃げ続けているとはとても思えん

で
注目すべきは
敵の乗り物だ
ザン・ルー
はい
お前は昨夜
そいつを見ているな
どんなもの
だった？
黒い鉄の……
船の形をした
飛行物でした
大きさは
およそ
全長70ヤード
皇宮前の
防壁塔の囲いに
すっぽり船底が
収まってましたから……
70ヤード…
そんな大きな船が
空を…？
そんなものが飛ぶには
相当な動力が
いりますね
そうか
カルセドニーへは
運河が
流れている

Chalcedony

Mizo

そう 俺は敵が水路を使うと考え

今朝からアルテミス川沿いの数ヵ所に見張りをつけた

現時点での報告では事前の運航届がない船籍不明の大型船が一隻一三〇〇にミゾー税関所を通過している

時間的につじつまが合うのはこいつだけだ！

ない！
キリ！
もしその予想がハズれてたら…
終わり
……
どっちに行こうが俺達が敵を召し捕る確率は変わらんよ
ガガン ゴゴン
ガガン ゴゴン
それにもし敵があのセイリュウ・ルーなら最後まで上層部をあざむいたやり方をとると思うが
どうだ弟？

……隊長
少し よろしい ですか
スクッ
何だ フレイル・アルジュナ 言ってみろ
私は作戦には 不満はありません!
不満は別の所に あります

彼を仲間として信用できません!

途中で裏切って兄貴を逃がすかもしれないじゃないですか!!

そんな事しない!!

信用できない!!

第一師団のマーハン・ルーが出てくるまでは
第二師団のアルジュナ一族――
お前の一族が最強と謳われていたものな
そりゃ面白くねぇわなぁ
カ…
カンケーないです！そんな…
なんだよ…！ルー一族をけなしたいだけなのか!?
ムカッ

うるさい！
そんなの関係ないって言ってるだろ!!
ああん!?
ガッ
逆うらみじゃないかっ!!
あ…あわわわ

何だと!? 気にくわん――!!!
ドカーッ
あ あよ
火に油を注ぐようなことを…

アルジュナ少尉とは理由が異なりますが…
自分もこの人選には納得しかねます

何故あんな新卒兵ばかりを？

立派な軍歴のある兵士じゃ命令違反についてこないだろ?
……
自分はこれでも十年戦士ですが
ゴゴゴ…
お前は資料を見て上官の命令を絶対とする兵士だと思ったから選んだ
カットラス・ローラン
俺を絶対としろ
……
要するに不運だったという事ですね
そうともー
キーキー
いいかげんにせんかきさまら

アタリかハズレか
どっちかね
〇─〇〇：アルテミス川沿い
ポスポラスの国境線から南西25km地点
!!

――何⁉
船が停まった？

はい
別の集団に引き渡した模様です
乗り換えた船があるはずだ特徴は？
それが

大型船の死角に入ってこちらからは見えませんでした
小型船だとは思いますが
お前特別手当ナシな！
そんな――

ガチャ…
荷物積み終わりマシタよ

出せ
スピードを上げて国境線を越える気だな

船を乗り捨てて行きましたか
ああ…小型船となると船足が早まるな

俺達がポスボラスの国境線に着くのは六時
Posbolus
AM4:00～
AM6:00
小型船だと大型船より一時間前後早く着くとして…向こうは六時前に着いちまうな

早朝五時からの国境線越えの検問は小さな漁船の一つにまでインネンをつけて引き延ばすよう通達する!!
くッ
ホントに上官に恵まれなかったな…

一分の遅れも許されない状況になった!
お前らも気ィ張っとけよ!!

ゴク

兄さんを…
捕まえる——

積み荷は
飛翼から外した星石は砕いてこのトオリ

パサ

コッコッ
失礼します
ガチャ

少しは召しあがって下さい
そのような質素な服を着ていただくのも国境を越えるまでの事ですから

ドレスを着ていなければ
誰も皇女に気付かないのでしょうね
ずいぶん…川を走ったみたい
……ええ朝から丸一日は
そう
いくらかくれんぼが得意でも
もう 探しには来れないわね

エマ姫
お迎えにあがりましたよ

見えてきたぞ
ボスポラスの国境線だ！

ローラン！検問場の場所は把握してるか
ええ！

〇六〇〇：ポスポラスの国境線 検問場

ザザァ…

ザワ…

オイ まだかよ

ザワ ザワ

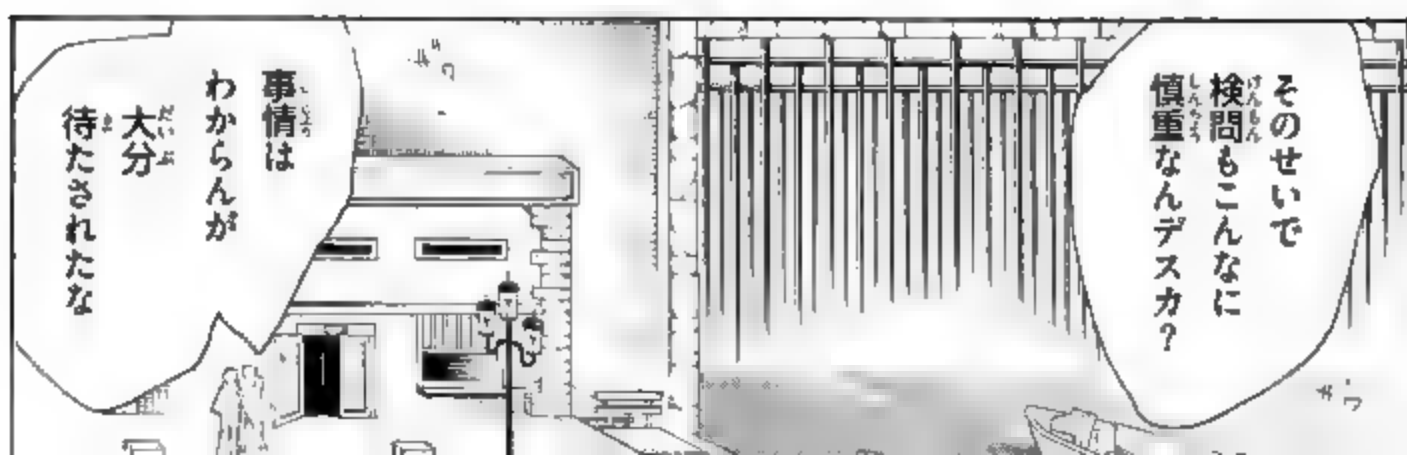
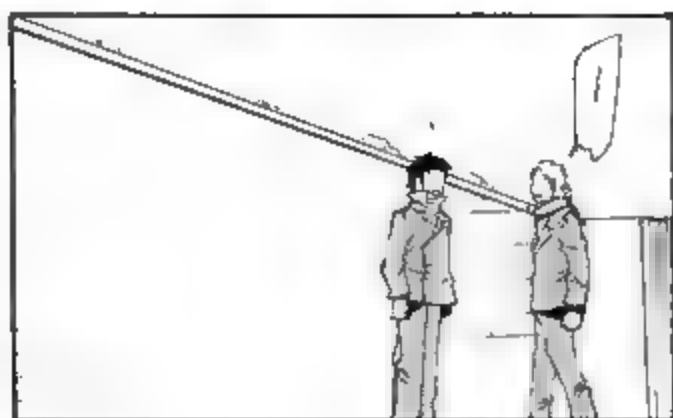
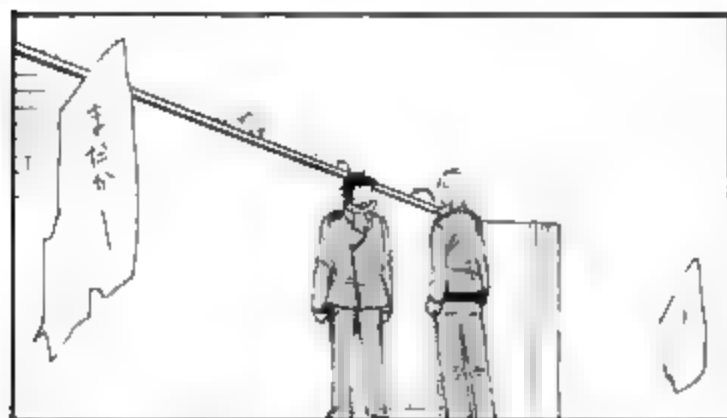
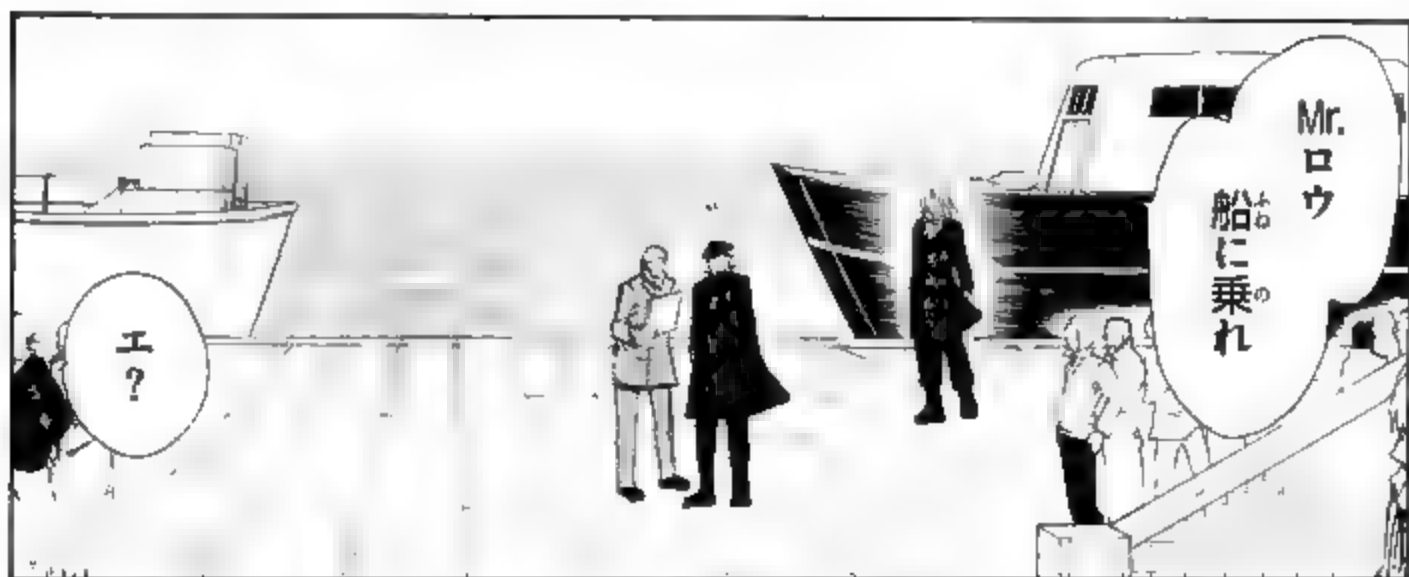
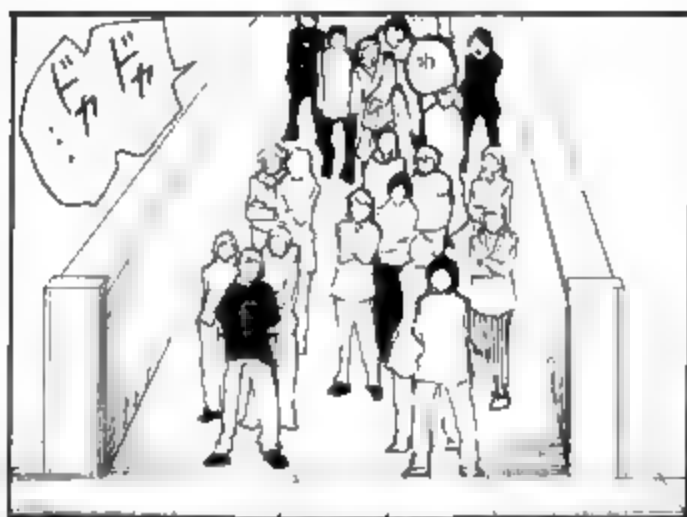
書類を先に回収する！

ザワ…
何だよ
押すな
……

ドャドャ…

Mr.ロウ
船に乗れ
エ?

おい
まだ検印を
押してな…

出せ!
え
でも
門が閉まった
ままですし
前にも
船があ
動くなア!!!

この場の船すべて我々が調べさせてもらう!!
セ……
セレニティス軍──!!?

オオ

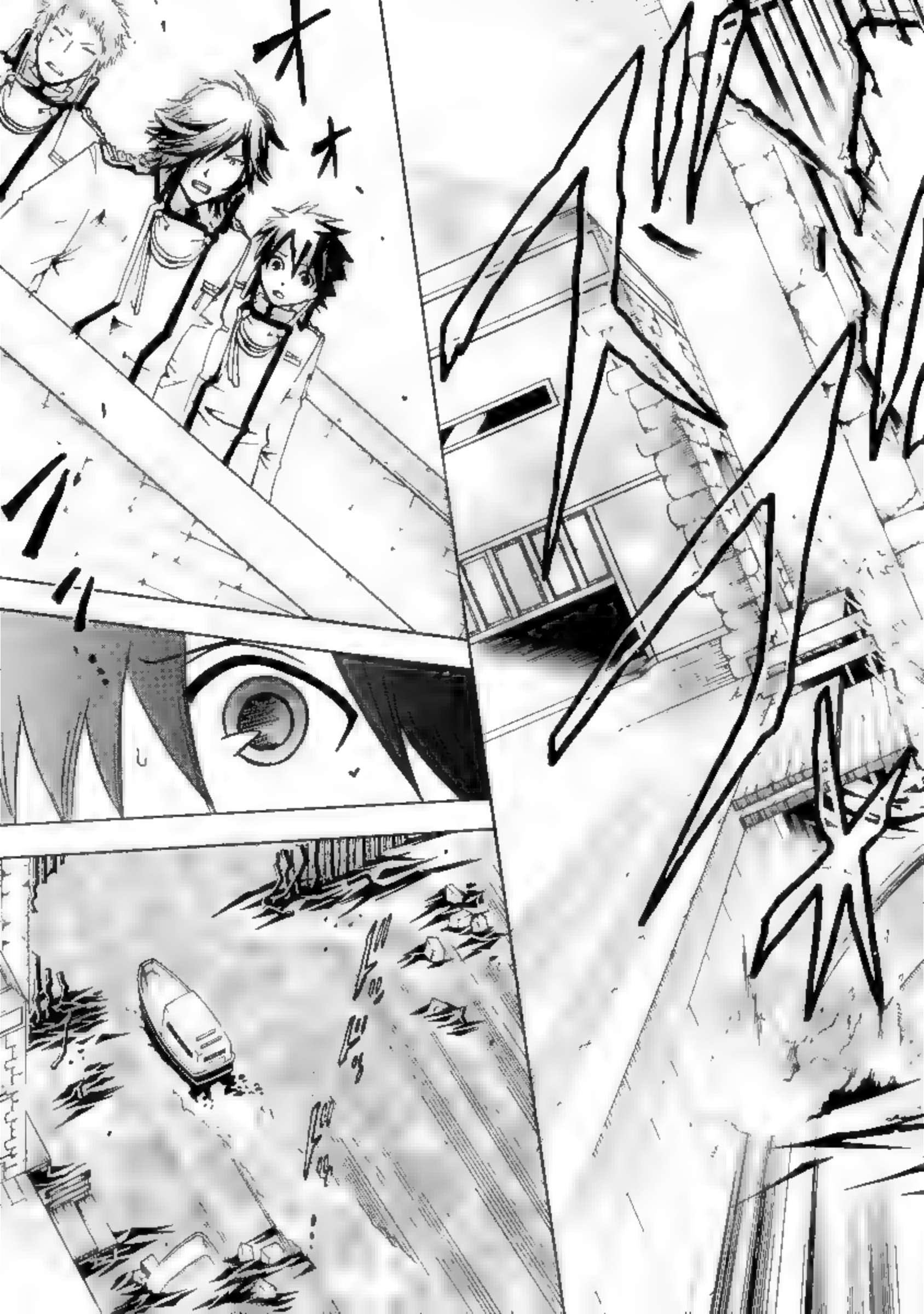
いるんですか!?
エマ姫!!!

!!
オイ!?

セイリュウ…

ズ
ダ
ッ
逃げるな！
ザ
つづく
出て来い
セイリュウ!!!

ブレイク・ハンズ
星石を継ぐ者

ブレイクハンズ あとがき

ブレイクハンズ1巻 読んで下さった皆さん
ありがとうございます。

なんかデカい話になってしまってますが
このマンガは家族ものにするつもりで
スタートしたんです。

トリオ・ザ・あさっての方向

家族なのに 考え方 全員 違げー
みんな 別のものを正しいと 思ってるよ みたいな。
なんで同じ家で暮らしてて そーなっちゃうのって事
現実でも よくあるなあと 思ってて その辺を中心に
描いていけたらなあと 思ってます。
本当に描けるかは 定かではありませんが
今日も レッツ チャレンジ。
よかったら 2巻も よろしく お願いします〜。

佐々木

スタッフ

植村えりか
カミムラ
よしの

その他 ヘルプに入ってくれた皆さん

ブレイクハンズ ～星石を継ぐ者～ 1

著者名……… 佐々木ミノル

発行者……… 三坂泰二

発行所………株式会社メディアファクトリー

http://www.mediafactory.co.jp/

2012年8月31日　電子書籍版　ver.1.1.0